

『会長指針と今年度の目標』



「オンラインによる第 1 回例会でもお示しましたが、今年度の会長指針は「日日是好日」であります。

この言葉は禅語のひとつであり、もともとは唐末の禅僧雲門文偃(うんもんぶんえん)の言葉とされています。

緊急事態宣言が解除されたとはいえ、コロナ禍は今しばらく続く可能性があります。会員の皆様にとって厳しい状況が続いていることと思います。「毎日が良い日なるよう努めるべきであり、

常に今この時が大切なのだ」と理解して、コロナ収束に向けての思いを込めての指針とさせていただきます。

さてワクチン接種が本格化し、先日甲子園 RC のメンバーにお尋ねしたアンケートでほぼ全員が接種を完了されていました。現状においてコロナに対しての最強の武器であると考えられるワクチン接種によって今後の見通しが明るくなりつつあります。またその有効性が大きい期待できそうな治療薬の開発も進んでいます。

「日日是好日」をモットーに前向きに行動していきましょう。

今年度も昨年度同様、従前のようなさまざまな事業計画は立てておりませんが、現時点では是非とも実行しようと考えているイベントは

- ① 年末家族例会(12/4 ホテルヒルトン大阪 35F「ウインドウズ」)
- ② 地区補助金事業であるサッカー怪我予防後援会(3/12)
- ③ 阪神第 2 グループIM(4/9)への参加
- ④ 米山留学生(劉丹さん)、新入会員歓送迎会
- ⑤ その他(感染状況により柔軟に対応)

また次回以降にお話したいと思いますが、コロナ禍という状況といっても、1 年前と大きく異なることがあります。それはワクチン接種の普及と新規薬剤の開発、臨床使用が可能となりつつあることです。

ご存じのようにワクチンは高い有効性を持つことは周知の事実であります。また、これに加えて新規治療薬(抗体カクテル、最近特例承認された抗体薬、経口抗ウイルス薬)が広く安全に使用できるようになれば、季節性インフルエンザ並みの対応となることも可能でしょう。

大いに期待したいと思っております。